

第 8 回アジア建築新人戦

ワークショップ

共生 Symbiosis of Man and Nature

<新宿で共生を考える>

今回のワークショップの会場となっている西新宿は人間と自然の関係を考える上で興味深い土地です。ここにはもともと1898年から1965年まで使用された淀橋浄水場がありました。自然の水を人間が利用できるようにするための大きな施設です。

その後1960年代から新しい都市計画が進められ1974年に竣工した「新宿三井ビルディング」(日本設計)の公開空地は人工的なランドスケープと植栽が成熟した姿を見せています。

また「新宿中央公園」(1968年)は一見自然な姿のように見えるかもしれませんが、一部には給水場の機能が残っていて、まったく人工的な自然です。ちなみに現在大きな森となっている明治神宮は約100年前に日本全国から木を集めてつくった人工の森のなかにつくられています。

新宿駅の北西側にある「思い出横丁」(俗称 しゅんべん横丁)は第二次世界大戦後、1946年に闇市として始めました。木々の溢れる自然の風景とは対極的ですが、人間という動物が極限状態で作りあげる場であり一種の自然と考えることもできるかもしれません。

ワークショップではこの三つの異なる人間と自然の共生を考えるヒントをくれる場所を見学した後に、計画対象地に自由に提案を行ってください。未来へのビジョンを期待します。

計画対象地：新宿野村ビル 外構部分の地上、地下に自由に

用途：自由に設定

参加者と参加予定大学：

アジア代表 23 人

芝浦工業大学

千葉工業大学

明治大学 他

<プログラム>

09:30 – 18:00 Workshop in SOGO SHIKAKU

09:30-09:40 : 挨拶と先生紹介

09:40-10:00 : チーム分け

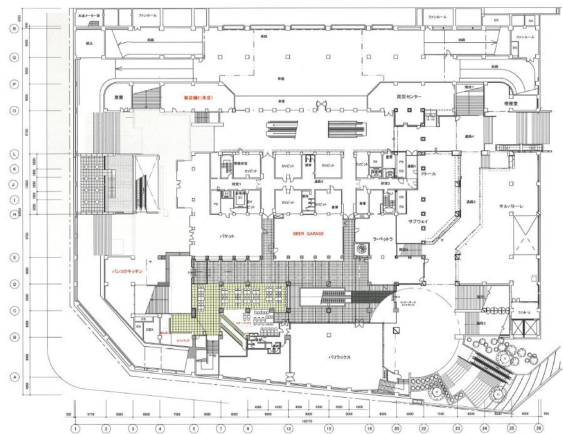
10:00-10:20 : 課題の説明

10:20-12:00 : 見学

12:00-12:40 : 昼食

13:00-17:00 : ディスカッション&プレゼンボード作成

17:00-18:00 : プレゼンテーション



<会場>

総合資格学院 新宿校 (東京都新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル 3F)

主催：アジア建築集合体 (AUA)

協賛：株式会社 総合資格